

# 医療と物語

ナンバリング:N1-L2-Z30

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 准教授		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野、緩和医療学科、救急・災害医学講座、臨床遺伝学科、教養教育センター		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

医学と医療との違いを考え、人間関係に基づく医療行為を理解するために、近代科学と対極にある物語の世界について考える。医療面接においては、病について語る患者のストーリーから病の原因と治療方法とを探るナラティブ・メディスン(物語と対話に基づく医療)が行われている。本科目では文学の物語享受のあり方を通して、本学附属病院ならびに災害医療センターの臨床医、学内外の専門家の協力を仰ぎながら、病のストーリーを受容するための基本姿勢を学修する。物語精読においては、とりわけ「死」や「痛み」をテーマとする文学作品を取り上げ、グループワークやディスカッションを通して生きることと死ぬことの意味を自身に問いかける。

## ・教育成果(アウトカム)

文学がときに病と密接にかかわりながら創造されてきたことを理解し、医療現場における病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語に対する問題意識を持つ。文学の韻律や象徴の技法を学ぶことによって、文学を読み解くように病者や病いの現実を受容するアプローチの可能性を理解する。また、臨床現場における最新の知見や症例における物語的側面に意識を向け、誠の医療人として地域での医療体験実習や臨床実習に臨む心構えを形成する。様々な物語を読むことによって、自分自身の人生、他者との関わり、医療人としての立場におけるナラティブを考え続けるためのビジョンを形成する。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

## ・到達目標(SBO)

1. 医学と医療の違いについて説明することができる。
2. 患者、医療者、病いそれぞれの物語について、多角的観点から説明することができる。
3. ナラティブ・メディスンとナラティブ・ベイスン・メディスン、エビデンス・ベイスン・メディスンの違いを具体的に述べるができる。
4. テキストで機能的に使用されるメタファーを抽出し、その意味を解釈することができる。
5. 臨床現場における病いと治癒を媒介するナラティブ・アプローチに目を向けることができる。
6. 多くのテキストを味読することにより、死と生、痛みや苦しみについて自身の考えを述べるができる。
7. 看護の視点から人間について総合的に捉え説明できる。
8. 多様な価値観や人生観を有している人々を尊重する行動をとることができる。
9. コミュニケーション、治療的コミュニケーションについて説明できる。

## ・授業日程

### 【講義】

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/3 木 2限	<b>【授業内容】</b> 授業ガイダンス、ナラティブ・メディスンとG. Greene小説の中の病者 1. ナラティブ・メディスンの概要および文学との関連性について理解できる。 2. A. Kleinmanの病いの定義について理解し、説明できる。 3. G. Greeneの作品に描かれている病める者特有の表情や行動を分析し、説明できる。 <b>【関連するSBO】</b> 2、3、6、8 <b>【事前学修:30分】</b> ナラティブ・メディスンの定義について調べる。 <b>【事後学修:40分】</b> 講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。	英語分野 柳谷 千枝子 准教授

9/10 木 2限	<p>【授業内容】治療の物語—臨床における緩和ケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緩和医療の現場における治療とケアの実際について理解できる。</li> <li>2. 病いに罹患した患者や家族の苦悩を理解し、医療人としての自身の役割、あり方を考えることができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】1、5、7、8、9 【事前学修:30分】緩和ケアとは何かについて調べる。 【事後学修:40分】講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>	緩和医療学科 木村 祐輔 教授
9/17 木 2限	<p>【授業内容】災害医療の歴史と東日本大震災での医療活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害医療の歴史について理解できる。</li> <li>2. 東日本大震災での医療活動の実態について説明できる。</li> <li>3. 東日本大震災以降の大規模災害での医療活動を理解できる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】5、7、9 【事前学修:30分】災害と災害時の医療活動について調べる。 【事後学修:40分】講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授
9/24 木 2限	<p>【授業内容】「病」と「死」の物語—T. S. エリオット原作ミュージカル『キャッツ』と「うつろな人々」とその周辺</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. T. S. エリオットの詩の物語性を理解できる。</li> <li>2. T. S. エリオットの詩から「病」と「死」について理解し、説明できる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、4、6 【事前学修:30分】T. S. エリオット原作のミュージカル『キャッツ』のあらすじを調べる。 【事後学修:40分】講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>	教養教育センター 熊谷 治子 非常勤講師
10/1 木 2限	<p>【授業内容】文学とエンタメにみる医科学の歴史:『フランケンシュタイン』と『ファウスト』を例にして</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識の間違った応用(非倫理的な応用)の例を述べるができる。</li> <li>2. 知識を無限大にふやすことの是非を論じることができる。</li> <li>3. 科学の進歩が必ずしも人類の平和をもたらすわけでは無いことを踏まえ、倫理的な応用について持論を展開できる。</li> </ol> <p>【双方向授業】授業中、インターネットクリッカーを使用する。 【関連するSBO】1、2、6、8 【事前学修:30分】『フランケンシュタイン』と『ファウスト』のあらすじを調べる。 【事後学修:40分】講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>	教養教育センター 佐藤 洋一 名誉教授
10/22 木 2限	<p>『竹取物語』のナラティブを考える</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『竹取物語』の物語要素を理解できる。</li> <li>2. 文学作品読解とナラティブ・メディスンへの実践の共通性を理解できる。</li> </ol> <p>【グループワーク】 【関連するSBO】2、4、6、8 【事前学修:30分】『竹取物語』についての知識を整理しておく。 【事後学修:120分】登場人物のナラティブを考えながら本(小説)を1冊読む。</p>	教養教育センター 平林 香織 非常勤講師
10/29 木 2限	<p>【授業内容】ピプリオバトル(クラスマッチ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自身が選んだ作品についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。</li> <li>2. ピプリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。</li> <li>3. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げることができる。</li> </ol> <p>【プレゼンテーション】 【関連するSBO】2、4、6、8 【事前学修:300分】My Biblioを選んで期日までにコンテンツシートを作成、提出する。 【事後学修:60分】ピプリオバトルのテーマについて自身と他者の見解の相違をまとめる。</p>	英語分野 柳谷 千枝子 准教授
11/5 木 2限	<p>【授業内容】遺伝性疾患の物語—臨床におけるナラティブ・カウンセリング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遺伝性疾患をもつ患者・家族の語りから「病い」の経験の多様性を理解できる。</li> <li>2. 聞き手が語り手に及ぼす影響を体験し、理解できる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、3、5、8、9 【事前学修:30分】遺伝カウンセリングの定義を調べる。 【事後学修:40分】講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。</p>	臨床遺伝学科 山本 佳世乃 特任准教授
11/12 木 2限	<p>【授業内容】ピプリオバトル(ファイナルマッチ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選出されたバトルとピプリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。</li> <li>2. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げることができる。</li> <li>3. 選出されたバトルの発表を聴いて、自身の考えや意見を論理的に述べるができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、6、8 【事前学修:30分】スタナビの「ピプリオバトル」を読み、理解する。 【事後学修:40分】各バトルの発表の要点と自身の見解をまとめる。</p>	英語分野 柳谷 千枝子 准教授
11/19 木 2限	<p>【授業内容】総括、様々な物語を通して考える</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本講義全体を通して病者の物語、病いの物語、医療従事者の物語を通じて生きることと死ぬことの意味を考察し、自身の意見をまとめることができる。</li> <li>2. 患者が抱える様々な苦痛を読み解き、理解することができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、3、4、6、8 【事前学修:60分】講義資料やアクションペーパーをもとに全体を通して印象に残ったキーワードを挙げ、医療と物語の関係性について自身の考えを整理する。全人的苦痛(トータルペイン)について復習する。 【事後学修:30分】講義資料をもとに要点をまとめ、説明できるようにする。 【期末レポート作成:420分】</p>	英語分野 柳谷 千枝子 准教授

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	ナラエビ医療学講座	斎藤 清二	北大路書房	2011
参	医療におけるナラティブとエビデンス—対立から調和へ 改訂版	斎藤 清二	遠見書房	2016
参	Narrative Medicine honoring the stories of illness	Rita Charon	Oxford UP	2008
参	Narrative Based Medicine dialogue and discourse in clinical practice	Trisha Greenhalgh & Brian Hurwitz	BMJ Publishing Group	1998
参	Medical Humanities An Introduction	Thomas R. Cole et al.	Cambridge UP	2015
参	史上最高に面白いファウスト	中野 和朗	文藝春秋	2016
参	フランケンシュタイン(光文社古典新訳文庫)	シェラー著/小林章夫 訳	光文社	2010
推	音楽と絵画で読むT. S. エリオット:『ブルフロックその他の観察』から『荒地』へ	熊谷 治子	彩流社	2018

・成績評価方法

【総括的評価】

1. 期末レポート: 50%
2. 毎講義のリアクションペーパー: 30%
3. プレゼンテーション、グループワーク・ディスカッション、ビブリオバトル等への積極的参加: 20%

【形成的評価】

1. 講義内容に関する質疑応答により、理解度評価を行う。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、2、4	1、2、3、4、6、7						①50	50
1、2	2、6、8						②30	30
1、2、4、7	2、6、7、8、9						③20	20
合計		0	0	0	0	0	100	100

〈備考〉その他の①期末レポート、②毎講義のリアクションペーパー、③プレゼンテーション、グループワーク・ディスカッション、ビブリオバトル等への積極的参加

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

講義内容をもとに、毎回リアクションペーパーを書いて提出することとする。リアクションペーパーは採点の上、返却する。

【その他】

1. 本講義では、文学作品・映像・音楽を用いたナラティブ(物語)に関するグループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション(ビブリオバトル)を行う機会を設ける。
2. 一部、「医療と法律」、「パーソナリティ心理学」、「人間関係論」の他科目と連携してビブリオバトルを実施する。
3. 事前学習として、講義で取り上げる作品や作家、主要テーマについて調べておくこと。また、参考図書や推薦図書を一読することが望ましい。
4. 成績確定後、希望者にはプレゼンテーションおよびレポート評価を開示する。希望者は科目責任者に連絡すること。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):基礎分野 科学的思考の基盤

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

- ① 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
- ② 様々な領域の専門家による講義により、多様な価値観や広い視野に立った物の見方や考え方を学ぶ。
- ③ 緩和医療の現場における治療とケアの実際を、臨床事例を交えて行う。
- ④ 医科学者として研究に従事してきた実績と、厚生労働省指導医療官として医療人の倫理面の監督にあたる現職の経験をもとに、文学に表出された科学の光と影を紹介する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	講義室AVシステム一式	1	講義資料提示